令和８年度 開発途上国・新興国等における医療技術等実用化研究事業

開発途上国・新興国向け 医療機器 事業化戦略セミナー

AMEDは、開発途上国・新興国等の医療ニーズや現地の医療環境を踏まえ、現地での導入・定着を目指した医療機器等の開発を支援しています。現地での普及には、技術の新しさや性能に加え、製品の有用性と価格の両面で、持続的な調達・導入につながる「買い手」に選ばれるような事業計画が求められます。

本セミナーでは、国際機関のゲストも交え、最も影響力を持つ「買い手」である国際機関や保健省の着目する医療課題、また、技術開発から実証・導入・普及までの課題や本事業の支援内容を紹介します。

開催概要

日時	2026年12月7日（月）16:00~18:00　※開場15:30
開催形式	会場＋オンラインのハイブリッド形式
会場	株式会社野村総合研究所（東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ）
参加費	無料
対象	途上国・新興国向けの医療機器等の製品開発・海外展開を検討している企業および本事業に興味を持つ方
定員数	会場60名、オンライン500名（参加申し込み先着順）

プログラム

※プログラムは変更になる可能性がございます。

No.	時間	演目	講演者
1	16:00~16:05	開会挨拶	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
2	16:05~16:15	基調講演 ・ 途上国・新興国への医療技術国際展開の意義・政府の取組	厚生労働省医政局総務課 医療国際展開推進室
3	16:15~16:45	国際機関からのメッセージ ・ 過去の事業化支援事例を題材にした、事業化に向けた必須条件の提示	Stop TB Partnership Jacob Creswell 氏
4	16:45~16:55	事業の目的と特徴 ・ 開発途上国・新興国等とは（覚書締結国、DAC List） ・ 開発サポート機関について	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
5	16:55~17:15	開発途上国および新興国の課題とビジネスチャンス ・ 途上国・新興国の課題、市場状況、調達環境および調達制度 ・ 途上国・新興国における事業化、マネタイズについて ・ 開発サポート機関としての支援内容 ・ 事例紹介：アフリカ事業の難しさと本事業での対応事例	株式会社野村総合研究所
6	17:15~17:30	事業の紹介 ・ 事業の流れ ・ 成果目標、現地ニーズを起点とした開発 ・ 事例紹介	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
7	17:30~18:00	質疑応答・閉会	

参加登録

※会場参加〆切：11/30(月) 23:45　オンライン参加〆切：12/7(月)14:00

会場 https://forms.cloud.microsoft/r/4T5tMD223j

オンライン https://cu-nri.zoom.us/webinar/register/WN_JRC1jijLRVaBMryCv1S6WA

こちらのQRコードからもお申込み可能です

会場参加　オンライン参加

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development
AMED

お問い合わせ
医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課
開発途上国・新興国等事業担当
E-Mail：shinko-kiki@amed.go.jp